

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当エリアは住民主体の地域福祉活動が活発で、地域の福祉拠点である常設サロン「いこいの家」があります。また、住民間の支えあいの仕組み「ふれあいヘルプ」が実施されている等、泉区内でも先駆的な取組を実施している地域です。それ以外にも、8の各自治会町内会で高齢者サロンがあり、体操教室も13団体ある等、地域活動も盛んです。様々なお祭りやイベントも活発に実施されており、連合や地区社協・民児協が連携しながら積極的に福祉に取り組んでいる地域でもあります。一時期はコロナの影響もありサロン活動の縮小・休止等の状況がみられましたが、少しずつ時間をかけてwithコロナのかたちで再開・内容を変えて開催されるようになってきています。今年度は再開・変容した地域活動のサポートを行いつつ、チームオレンジの活動の促進に向け、介護予防・認知症予防(啓発)の取り組み、新たな担い手やボランティアの発掘とそのサポートといった事業に力を入れたいと思います。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エリア内の教育機関(小中学校、保育園、幼稚園等)にむけて福祉教育の実施、ボランティア活動の紹介、交流を促進してまいります。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	スマートフォンやZOOM等、ICTの活用・啓発を目的とした事業を継続し、新たな交流の場・手段の拡大を目指します。また介護予防・認知症予防(啓発)を目的とした事業開催においても、ZOOM等の活用を検討し会場に来なくても参加できる形での開催を目指します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「いこいの家」「みんなの絵本のおうち」等、地域の交流拠点の利用者増加のサポートをしてまいります。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	担当エリアにおいて、ヤングケアラーについての周知を目的とし、地域への講習会を実施。地域での支援を共に考えてまいります。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	チームオレンジの取り組みとして、地域で暮らす方の認知症の予防・進行を緩やかにしていくための活動(スリーA)の担い手を育成し、活動を広げることを目指します。また、そのほか認知症に関する知識の普及啓発のために認知症サポーター養成講座・スキルアップ講座を開催することで、地域の交流拠点と協力し、地域活動として周知していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・エリア内の教育機関との関わりについて、今年度、福祉教育の場面においては、中和田小学校4年2, 3組での認知症サポーター養成講座や、高齢者疑似体験を実施し、総合事業の発表の場としてCPを活用しました。今後中和田中学校とも、連携した認知症サポーター養成講座を開催予定です。ボランティアについては、ケアプラザのそよ風フェスタ等をボランティアの活躍の場を用意しています。

・ICTの活用・啓発については、スマホよろず相談の場で、スマートフォンの活用方法に関する相談を受ける中でリピーターとなる利用者が増えてきており、相談者の相談傾向もステップアップしてきています。今後も新たな社会との繋がりを持つためのツールとしてスマートフォンを活用していただけるようにサポートをしていける相談の場としていきます。講座等のICT化については、移動に関するニーズが顕在化していることから潜在的なニーズとしては存在すると想定されますが、まだそういった参加方法に馴染みのない層が主なターゲット層になるため、参加希望者に求められていることと課題の整理を改めて行っていくことが今後の課題と捉えています。

・「いこいの家」「みんなの絵本のおうち」の利用者増に向けた取り組みとして、本年度は「いこいの家」を活用したケアプラザ事業の開催(スマホよろず相談やフレイル予防講座)と、「みんなの絵本のおうち」の認知症カフェ開催に向けた後方支援(情報提供やその場への参加)を行いました。それにより、これまでその場を知っていても利用につながっていなかった方々の参加につながりました。今後も同様の取り組みを考えていきたいと思ひます。

・地域の方、地域で活躍する福祉関係者等に向け、ヤングケアラーに関する講習会を開催し、ヤングケアラーに関する理解の増進につなげることができました。今年度は特に訪問介護事業所やケアマネジャー等家庭に比較的深く介入する職種への啓発につながりました。

・今年度、チームオレンジの取り組みとして、様々な脳トレゲームを行う「スリーA」の進行役となる担い手の養成講座(全5回)を開催し、平均10名程度の参加者となりました。参加者にはサロンの担い手もおり、サロンでの活用を目的に参加して下さっており、今後は講座参加者の実践に向けたサポートを主体に行っていく予定です。

区からのコメント

・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランの着実な推進のため、区内生活支援コーディネーターが一丸となって取組を進められています。次年度も引き続き、泉区アクションプランに基づく各種取組の推進を期待しています。

・認知症支援事業では、いずみ中央・いずみ野エリアのキャラバン・メイト連絡会により、新テキストでの講座の持ち方について検討を進めるなど、キャラバン・メイトへの積極的な支援を行うことができています。今年度から新たにチームオレンジの取組を行い、活動の準備段階から地域の方に参加いただく等、認知症の普及啓発の取組を進めました。今後も引き続き、認知症の正しい理解に向けた取組の推進を期待しています。

・ケアプラザのお祭りや自主事業で、小中学生が泉わくわく応援隊として活動する等、積極的にボランティアを受け入れていきます。次年度以降も、子どもたちが活躍できる場の提供をお願いします。

・いこいの家、みんなの絵本のおうち等、地域の交流拠点の利用者が増えるための取組として、自主事業の開催や、事業の後方支援を行いました。今後も、それぞれの拠点の認知度の向上や利用者が増えるよう、活動の支援をお願いします。